

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝 - 精神・発達障害は本当に「障害」？ ILAS Seminar :Introduction to Evolutionary Psychiatry - Are psychiatric disorder really disorder?	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Informatics Associate Professor,GOTOU YUKIORI		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Hours</b>	30
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・Intensive, First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	12 (5)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Intensive TBD
<b>Classroom</b>				<b>Language of instruction</b>	Japanese and English
<b>Keyword</b>	脳科学 / 精神医学 / 病跡学 / 脳の進化 / 心理実験				

#### [Overview and purpose of the course]

歴史上の傑出した芸術家や科学者などの多くが、脳機能障害、とりわけ、精神疾患や発達障害を持っていたことが知られています。本ゼミナールは、このような歴史上の人物の紹介を通じて、精神疾患や発達障害は「人間にとって、はたして本当に病気や障害なのか？」「生物の進化の過程において、なぜ、そして、どのように派生してきたのか？」といった疑問を討論します。また、精神疾患や発達障害の生物学的メカニズムの解明に向けた神経科学・心理学実験などの実習体験を通じて、理解を深めていただきたいと思います。

#### [Course objectives]

- ・精神疾患や発達障害とは何か（脳神経生物学的なメカニズム、ヒトにとっての存在意義、療育や治療方法の現状など）について理解する。
- ・心理学や脳神経科学研究の基礎について理解する。

#### [Course schedule and contents]

##### I.授業形式・日程・場所

夏期休暇中（8月最終週～9月第1週を予定）の4日間の集中講義形式で行います。5名以上の受講希望者がいた場合は、2グループに分けて行います。

講義ならびに心理実験体験等の実習を行います。

開講は医学部構内先端科学研究棟と関田南研究棟内にある研究室を予定しています。

##### II.講義・実習の内容

(1)精神・発達障害を持っていたといわれる歴史上の偉人の紹介を交えながら、精神疾患や発達障害とはヒトにとって何なのか、といった疑問などの講義、討論を行います。

(2) 精神・発達障害の生物学的メカニズムに関する最新の研究の紹介などを交えながら、生物の進化から見た精神疾患や発達障害の理解についての講義、討論を行います。

ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝・精神・発達障害は本当に「障害」?(2)

(3)心理実験体験。

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

平常点評価(出席状況と議論への参加度(100%))

**[Textbooks]**

Not used

**[References, etc.]**

**(References, etc.)**

デイヴィッド ホロビン 『天才と分裂病の進化論』(新潮社) ISBN:978-4105419011

イアン ジェイムズ 『アスペルガーの偉人たち』(スペクトラム出版社) ISBN:978-4902082074

ランドルフ・M. ネシー、ジョージ・C. ウィリアムズ 『病気はなぜ、あるのか 進化医学による新しい理解』(岩波書店) ISBN:978-4788507593

**(Related URL)**

<https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/goto-laboratory/>(研究室ホームページ)

**[Study outside of class (preparation and review)]**

講義までに神経科学や精神医学などの入門書を読んでおくこと。

**[Other information (office hours, etc.)]**

- ・ 学生教育研究災害傷害保険へ各自加入しておくこと。
- ・ 採点報告日(8月中旬)以降に集中講義で実施するため、成績報告が遅れる可能性があります。
- ・ 履修登録期間終了後、講義の日程調整ならびにガイダンスを行います。